

ななかまど

平成28年(2016年)3月25日

NO. 610

札幌市立共栄小学校

URL <http://www.kyoei-e.sapporo-c.ed.jp/>

e-mail kyoei-e@sapporo-c.ed.jp

1年間ありがとうございました

校長 木村 範子

待ち遠しかった北国の春の陽射しが降り注ぐ3月18日、第42回卒業式が行われ、6年生83名が共栄小学校を巣立って行きました。厳粛な中にも温かで希望に満ちあふれた感動的な卒業式でした。3月10日には全校集会「6年生を送る会」が行われました。各学年の出し物はどの学年も工夫をこらして「おめでとう」と「ありがとう」の気持ちを卒業生に伝え、それぞれの1年間の成長を感じるものでした。特に1、2年生は卒業式に参加しないことから、より一層思いがこもったメッセージを音楽や呼びかけで伝え、それを受け取る6年生の表情からは、これまでのたくさんの思い出がよみがえり、充実した小学校生活だったことがうかがえました。そんな素敵な共栄小学校の子どもたちを学校と家庭と地域とで育ててきたことを喜び合いたいと思います。

1年間の学校へのご理解、ご協力まことにありがとうございました。

私が卒業式の中で卒業生に贈った言葉を一部引用し、今年度の「ななかまど」最終号のメッセージといたします。

素敵に生き生きと生きている大人の共通点は何でしょう。

それは人や世の中のために役立つことに喜びを感じ、眩しいほどに輝いている姿ではないでしょうか。自分の好きなことが職業にならないこともあるでしょう。でも、世の中のために尽くす、人のために役立つとする尊い生き方はどんな場合も共通していて、それが自分の生きる喜びにもなります。未来のみなさん一人一人の眩しいほどに輝く姿を想像するとわくわくします。

しかし、時には思い通りにならないことがあるかもしれません。

作家の三浦綾子さんは、ある本の中でこう述べています。

「踏み出す一歩が 道を切り開く」

苦しい時、チャレンジしなければならないとき、希望と勇気をもって、まず一歩踏み出すこと、そして一步一步、歩み続けることで必ず道が切り開かれ、夢に近づいていきます。苦しみから逃げたり、誘惑によって道からそれたりせず、一度きりのかけがえのない人生を悔いのないよう生き抜いてください。心から応援しています。



年度当初の主な行事です。詳しい行事予定は次号に掲載します。

日	曜	行事等
6日	水	着任式・始業式 8:15~8:25に登校3・4・5年生は10:25下校
		入学式 11:00 式開始 2年生6年生は式に参加し11:45下校
22日	金	参観・懇談 学校説明会 5校時参観
		PTA総会
26日	火	家庭訪問 ① 27日② 28日③ 5月2日④ 6日⑤

平成27年度 学校評価『自己評価書』・『学校関係者評価書』を学校ホームページに掲載しました。ご覧ください。

お別れの言葉

* 10名の職員が異動・退職となります。

木村 範子 校長 <退職>

5年前に共栄小学校に赴任して初めて出会った子どもたちの素敵な笑顔と、明るい挨拶、素直さと人なつこさ。「なんてかわいい子どもたち!」と思った印象は5年間変わることはありませんでした。それは日々、学校と家庭と地域みんなで子どもを慈しんで育んでいるからにほかなりません。私は定年退職で学校とお別れしますが、38年間の教職生活最後の5年間を共栄小学校で過ごせたことを心から嬉しく光栄に思っています。ここまで支えてくださり、応援して下さった皆様に言葉に尽くせぬ感謝でいっぱいです。ありがとうございました。共栄小学校がこれからもずっと元気で輝き、みんな笑顔の学校でありますよう心からお祈りしています。

佐々木 隆 教諭 <もみじの森小学校へ>

共栄小学校に来てあっという間に5年の月日が過ぎました。子どもたちの学んでいる時のキラキラとした表情、子どもたちのために一緒に頑張ってくださった保護者のみなさんや地域の方々の温かさ。心に残っています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

佐々木 綾子 教諭 <米里小学校へ>

素直で心の優しい子どもたちに囲まれ、幸せな6年間でした。保護者や地域の皆様にも大変お世話になりました。共栄小学校で教えていただいたことを今後に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

松波 友美 教諭 <北白石小学校へ>

共栄小学校での5年半、「げんき かがやき 笑顔いっぱい」の子どもたちと、温かい保護者の皆様に囲まれて、楽しく過ごすことができました。共栄小で学んだことや思い出を大切にして、次の学校でも頑張っていこうと思います。5年半の間お世話になりました。ありがとうございました。

村上 優子 養護教諭 <退職>

毎朝、子どもたちの元気な挨拶とともに、スタートする共栄小学校の4年間でした。「げんき かがやき 笑顔いっぱい」のメッセージ。思いやりの心をつなぐ玄関でのバトンタッチ。そして子どもたちの笑顔…。どれも共栄小学校のよい思い出になりました。瞬く間の4年間でした。この度、3月で定年退職を迎えることとなり、自分の最後の教員生活を「素直で明るい子どもたちと温かな保護者の皆様」に囲まれて過ごせたこと、感謝しております。ありがとうございました。

長谷川 祐基 教諭 <もみじの森小学校>

共栄小学校では子どもたちみんながとても元気で明るい学校でした。いつも元気な挨拶でやる気をもらい、明るい笑顔に癒されてきました。おかげで毎日楽しく過ごすことができました。いつまでも明るい笑顔が輝く共栄小学校でいてください。今までありがとうございました。

山本 保弘 教諭 <清田南小学校へ>

3年間、共栄の子どもたちとの大切な思い出をつくることができました。また、教員として多くのことを学ぶことができ、子どもたち、そして、温かく支えて下さった保護者の皆様、地域の皆様には感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

丹保 有紀子 教諭 <札幌中学校>

はじめての小学校勤務で慣れないこともありましたが、すべてが新鮮で、子どもたちのパワーをたくさん感じた1年間でした。保護者の皆様には学級のことやPTA活動などで大変お世話になりました。子どもたちの活躍を通じて保護者の皆様の愛情の深さを感じました。これからも子どもたちの成長を願っています。ありがとうございました。

山口 一弘 事務職員 <退職>

共栄小学校に赴任してから2年が経ち、退職の日を迎えることとなりました。厚別区や白石区を中心に様々な小中学校で勤務してきましたが、この共栄小学校でこの日を迎えられたことを嬉しく思っています。ありがとうございました。

荒木 二三子 校務助手 <退職>

共栄小学校での最後の勤務は校長先生・諸先生方とりわけ保護者の皆様に助けられ続けました。何歳になっても教え導かれるものだと思えることができ感謝しております。ありがとうございました。